

# 第7回「アクセシビリティと コミュニケーション支援」

病気や障害で言語による会話が困難な方への、身近なタブレットなどを活用した  
コミュニケーション支援の方法や考え方についてのお話です。

## 講師

たか お ひろゆき

**高尾 洋之氏** (東京慈恵会医科大学)

先端医療情報技術研究部 脳神経外科学講座 准教授)



2001年から脳神経外科で医師として従事(脳卒中治療が専門)。2018年に重症のギラン・バレー症候群により四肢麻痺となり、アクセシビリティによる支援に出会う。倒れる前には気づかなかった、コミュニケーションが取りづらい状況にある方々の現状を自らの立場で体験、アクセシビリティ普及の必要性を痛感する。社会復帰後、「アクセシビリティ・サポート・センター(ASC)」を立ち上げ、医師であるとともに、当事者としての知識と経験を生かしながらその普及に尽力している。

たかはし よしあき

**高橋 宜盟氏** (東京慈恵会医科大学)

先端医療情報技術研究部 訪問研究員)



人生においてアクセシビリティという考え方やコミュニケーションが大切であることの啓発活動を行っている。一般社団法人結ライフコミュニケーション研究所、代表理事・研究員。有限会社オフィス結アジア(iPadで使うコミュニケーションアプリ「指伝話」の開発販売元)代表取締役。

令和7年

**1/17 (金)**

18:30  
〜  
20:00

## 会場

港区立障害保健福祉センター

(港区芝1 - 8 - 23)

## 対象

仕事、家族、ボランティア等で障害児・者の支援に携わっている人、  
またはテーマに関心のある区内在住・在勤・在学者

## 申込み

電話、FAXまたはメールで研修名・氏名・連絡先・所属を  
下記申込み先までお申し込みください。

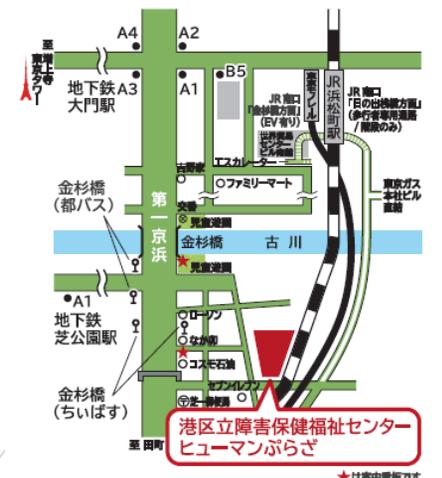
## 備考

- 参加費無料 ●定員60名(申込み順)
- 研修参加にあたり、自宅での介護または会場での一時保育(先着2名)が必要な方は**1月7日(火)正午まで**に港区立障害保健福祉センターへご相談ください。
- 手話通訳者あり。

## 【交通機関】

電車  
JR浜松町駅 南口改札 徒歩10分  
浅草線・大江戸線 大門駅 A1出口 徒歩10分  
三田線 芝公園駅 A1出口 徒歩10分

バス  
都バス(都06)金杉橋バス停 徒歩5分  
港区コミュニティバス(ちいばす)  
芝ルート 金杉橋バス停 徒歩3分



申込み・問合せ先 港区立障害保健福祉センター 研修担当(中村・保科)

TEL : 03-5439-2511 FAX : 03-5439-2514 メール : minato-chi@yuai.or.jp